

HIV・エイズの早期治療実現に向けての研究  
HIV初診時既治療患者と身体障害者手帳認定についての研究

研究分担者 今橋 真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部 感染症研究室長

## 研究要旨

抗 HIV 薬内服開始に当たっては、多くの PLWH（People Living with HIV）は身体障害者手帳を取得し経済的負担を少なくして行く。しかし申請要件を満たすことができず障害者手帳を申請できない PLWH もいる。本研究では 2016 年～2019 年に名古屋医療センター初診時、既治療ではあるが障害者認定を受けていなかった 134 人を対象に海外診断の有無・非申請の理由・抗 HIV 薬の調達方法を調査した。手帳を取得していなかった 26 人のうち、海外での HIV 診断があったのは 16 人（61.5%）、海外診断なしが 9 人（34.6%）、不明が 1 人（3.8%）であった。海外診断があった 16 人のうち 9 人はその後データを診断地より取り寄せる等で 7 人が身体障害者 4 級を取得、2 人が 3 級を取得していた。4 人は海外より抗 HIV 薬の輸送を受けていた。2 人は限度額認定を受け、治療を行っていた。残る 1 人は帰国していた。

前年度の研究結果と併せて、現行の制度で身体障害者手帳を取得できず影響を受けている患者割合は、2016 年～2019 年当院初診患者 568 人のうち、14 人（2.5%）（4 級不可：8 人、海外より ART 移送：4 人、限度額認定利用：2 人）であることが判明した。今後は本研究の結果をもとに、「診断即治療」を行った際のシミュレーション、費用対効果研究が促進されることが期待できる。

## A. 研究目的

HIV感染者が治療を始めるにあたり、費用負担を減らすため、日本では身体障害者手帳申請を行うことが多い。この身体障害者手帳申請はHIV診断後に4週間以上間隔のあいた検査値が2つ以上必要である。検査結果の不備のため、海外で診断後すぐに治療を開始したPLWH（People living with HIV）は障害者手帳を申請できない例がある。

障害者手帳制度を用いずにHIV治療を行っているPLWHの実態把握のため、本年度は名古屋医療センター専門外来初診時、すでに治療導入済みだが障害者認定を受けていなかった症例について調査を行った。

## B. 研究方法

2015年～2019年に名古屋医療センターに初診時治療導入済みで受診した患者134人を対象に、患者背景として下記項目をカルテより収集した。

初診日・性別・当院初診時年齢・国籍・抗HIV療法の有無・身体障害者手帳の有無・自立支援医療利用の有無・身体障害者手帳非申請理由・海外HIV診断の有無・薬剤調査津方法

## C. 研究結果

2015年～2019年に名古屋医療センターに初診時治療導入済みで受診した患者数は134人であった。そのうち、身体障害者手帳を取得していたのは108人（80.5%）、障害者手帳を取得していなかったのは26人（19.4%）であった。手帳を取得していなかつ

た26人のうち、海外でのHIV診断があったのは16人（61.5%）、海外診断なしが9人（34.6%）、不明が1人（3.8%）であった。

海外診断があった16人のうち9人はその後データを診断地より取り寄せる等で7人が身体障害者4級を取得、2人が3級を取得していた。4人は海外より抗HIV薬の輸送を受けていた。2人は限度額認定を受け、治療を行っていた。限度額認定は2人とも「区分エ」であった。残る1人は帰国していた。

海外診断がなかった9人のうち7人は刑務所または拘置所にて収監・拘留されているため身体障害者を取得していなかった。残る2人は本人希望で身体障害者手帳を取得していなかった。（図1）

前年度の研究結果では初診時未治療患者における、身体障害者手帳4級取得できない人数は8人であった。以上より、現行の制度で身体障害者手帳を取得できず影響を受けている患者割合は、2016年～2019年当院初診患者568人のうち、14人（2.5%）（4級不可：8人、海外よりART移送：4人、限度額認定利用：2人）であることが判明した。（図2）

## D. 考察

海外では「診断即治療」が行われていることが多く、2ポイントのCD4やウイルス量の検査結果が揃わないことが多い。また、たとえ検査結果が揃っていたとしても、2ポイント目の採血が治療後のため、ウイルス量がすでに検出感度未満を達成し、身体障害者手帳の要件の1つである「ヒト免疫不全ウイルス-RNA量について5,000コピー/ml以上の状態

が4週以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続く」点が該当しないことが多い。

本研究では、身体障害者手帳を取得できず影響を受けている患者の割合は全初診患者の2.5%であることが明らかになった。今後本研究で得られた知見をもとに、「診断即治療」を行った場合のシミュレーション、費用対効果研究が促進されることが期待される。

## E. 結論

現行の制度で身体障害者手帳を取得できず影響を受けている患者割合は、2016年～2019年当院初診患者568人のうち、14人(2.5%) (4級不可:8人、海外よりART移送:4人、限度額認定利用:2人)であった。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

1. Kawatsu L, Kaneko N, **Imahashi M**, Kamada K, Uchimura K. Practices and attitudes towards tuberculosis and latent tuberculosis infection screening in people living with HIV/AIDS among HIV physicians in Japan. *AIDS Res Ther*. Dec 3 2022;19(1):60. doi:10.1186/s12981-022-00487-8
2. Kawatsu L, Uchimura K, Kaneko N, **Imahashi M**. Epidemiology of coinfection with tuberculosis and HIV in Japan, 2012–2020. *Western Pac Surveill Response J*. Jan-Mar 2022;13(1):1–8. doi:10.5365/wpsar.2022.13.1.896
3. Matsuoka K, Imahashi N, Ohno M, et al. SARS-CoV-2 accessory protein ORF8 is secreted extracellularly as a glycoprotein homodimer. *J Biol Chem*. Mar 2022; 298(3):101724. doi:10.1016/j.jbc.2022.101724
4. Mori M, Ode H, Kubota M, et al. Nanopore Sequencing for Characterization of HIV-1 Recombinant Forms. *Microbiol Spectr*. Aug 31 2022;10(4):e0150722. doi:10.1128/spectrum.01507-22
5. Ode H, Nakata Y, Nagashima M, et al. Molecular epidemiological features of SARS-CoV-2 in Japan, 2020–1. *Virus Evo*

1. 2022;8(1):veac034. doi:10.1093/ve/veac034

6. Shigemi U, Yamamura Y, Matsuda M, et al. Evaluation of the Geenius HIV 1/2 confirmatory assay for HIV-2 samples isolated in Japan. *J Clin Virol*. Jul 2022;152:105189. doi:10.1016/j.jcv.2022.105189

### 2. 学会発表

1. **Mayumi Imahashi**, Teiichiro Shiino, Noriyo Kaneko, Yoshiyuki Yokomaku, and Chieko Hashiba. Geographic and risk variation in transmission clusters of HIV testrecipients in Nagoya, Japan., IAS 2022, July 29–Aug 1, 2022, Montreal, Quebec, Canada
2. **今橋真弓** 「アンケート自由記載から読み取る検査を受ける側の本音」【社会】シンポジウム2、第36回日本エイズ学会学術集会・総会。2022年11月18日～20日(浜松)
3. **今橋真弓** 「PLWHと一緒に考える長時間作用型注射剤の位置づけ」【基礎・臨床】シンポジウム9、第36回日本エイズ学会学術集会・総会。2022年11月18日～20日(浜松)
4. **今橋真弓** 「行政とコラボして進めるHIV検査体制～iTesting Channelの試み～」令和4年度北海道HIV/AIDS医療者研修会(WEB開催)2022年6月18日

## H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

図1 初診時既治療かつ身体障害者手帳なしの PLWH について

# 初診時治療導入済み+身障なし 26人

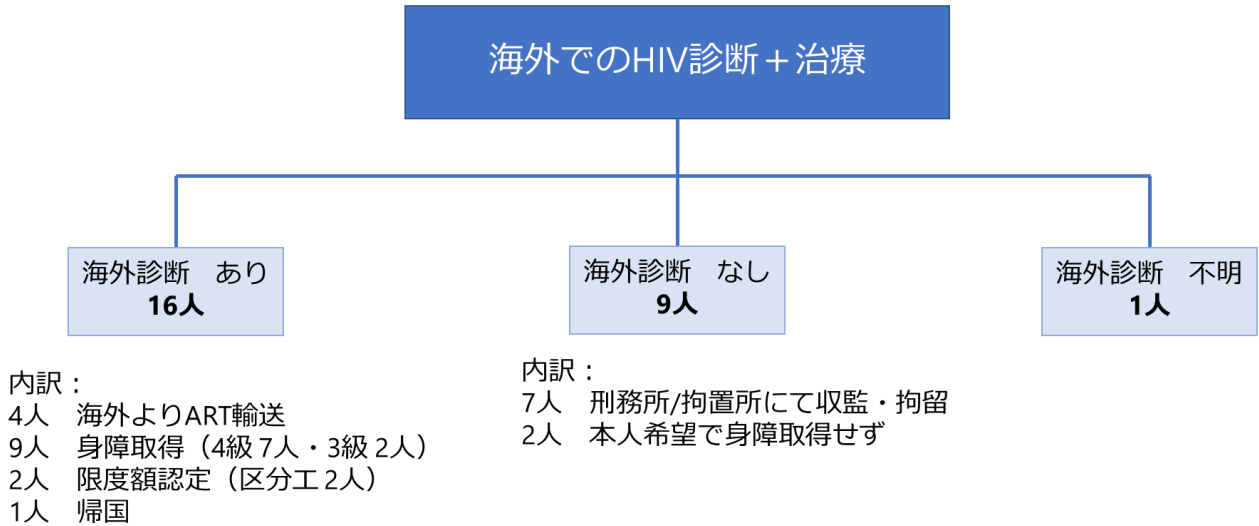


図2 現行の制度で身体障害者手帳を取得できず影響を受けている PLWH

